

ほけんたいおひまり 11月

過ごしやすい季節から、寒い季節へとかわってきました。11月も終わりに近づき、インフルエンザのシーズンを迎えました。本校かぜ症状を訴えて来室する子どもたちが多くなっています。子どもの異変に気が付いた時は、早めに担任または保健室にお知らせください。

インフルエンザがな…と思ったら

①子どもの状態をみて、下のような症状があったら、インフルエンザかもしれません…。

せき、鼻汁など

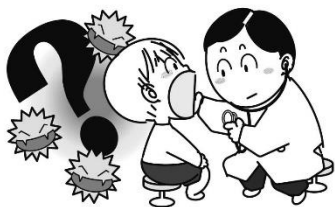


38℃以上の発熱



頭痛・関節痛・筋肉痛などの全身症状

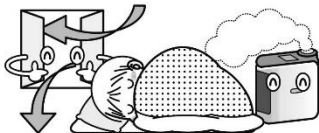
②勝手に判断するのではなく、必ず病院を受診しましょう。インフルエンザかどうかは、症状、流行状況、病理検査等の総合的な情報をみて判断されます。



③もしインフルエンザと診断されたら、熱が下がってから3日間が経つまでは、登園を控えてください。



④自宅ではゆっくり静養させてください。ウイルスが部屋で増殖するのを防ぐために、湿度を高めめに保ち、ときどき部屋の空気を入れ換えましょう。



⑤熱が高いときは、氷などで脇の下やけい動脈を冷やしてあげると効果的です。また、脱水症状を起こしやすいので、水分は十分にとらせましょう。



幼稚部
大分県立聾学校保健室
令和元年11月30日



感染症情報

大分市内でインフルエンザの流行が見られます。

□インフルエンザ 190人

・大分市…169人
(南大分中学校区、王子中学校区)

・中津市…9人

□溶連菌感染症 13人

□水ぼうそう 9人

□マイコプラズマ 7人

現在、本校で罹患者はいません。



大久保先生が12月より復帰されることになりました。

保護者の皆様の温かいお声掛けがとてうれしかったです。

本日まで大変お世話になりました。



6年間で139件 何の数字？

6歳以下の子どもが歯ブラシをくわえたまま転び、のどを突いてしまった事故の件数*です。歯ブラシが口の中に刺さり入院したケースも。きれいな歯を保つための習慣が悲しい事故になってしまわないよう、おとなが見守ってあげてください。

事故から守るために

- ・歯みがきをするときは床に座らせる
- ・子ども用歯ブラシは喉突き防止カバーなど安全対策がされているものを選ぶ
- ・歯ブラシだけでなく箸やフォークなどの日用品も、口に入れたまま歩かせない

*平成22年12月～28年12月「医療機関ネットワーク事業」に寄せられた事故報告件数